

農産FAX情報 第9号

令和4年9月15日

発行：ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 秋まき小麦

(1) は種適期

○「きたほなみ」は、越冬前までに主茎葉数5葉、茎数750本/m²程度を確保することがのぞまれます。9月22日までのは種を目標にして準備を進めましょう。

○作業が遅くなる場合でも9月末までに、は種を行ってください。

(2) は種量

○は種量は、は種時期に合わせて調整しましょう。幕別町忠類で使用予定の種子千粒重は以下のとおりです。

中札内産 38.3 g、本別町産 36.8 g

十勝農協連 令和4年産秋播小麦の千粒重について（速報）よりは種期別は種量の目安（大樹アメダス平年値使用）

区 分	適期播き	やや遅播き	遅播き
は 種 日	9月18～22日	9月23～26日	9月27～30日
は種粒数(粒/m ²)	120～150	150～200	200～250
中札内産 は種量(kg/10a)	4.7～6.0	6.0～7.7	7.7～9.9
本別町産 は種量(kg/10a)	4.5～5.7	5.7～7.3	7.3～9.4

※は種量は、出芽率90%で計算

○粘質土壌や過湿土壌では、出芽率低下を考慮して上の表から1割程度増量してください。

○は種深度は2～3cm程度となるよう、は種機の調整を行いましょ。深播きは、出芽率の低下や二段根の発生、雪腐病等の発生要因となります。

(3) 施 肥

○基肥窒素量は4kg/10a程度を目安とし、リン酸、カリ、苦土については土壌診断の結果に基づき施肥量を調節しましょう。

(4) 除草剤の使用

○イネ科雑草対策には秋期の土壌処理が効果的です。小麦3葉期までに、土壌処理作業を行いましょ。（薬剤例 ガレース乳剤）

2 てんさい

(1) 褐斑病の防除

○発生拡大に引き続き注意が必要です。ほ場をよく確認し、防除を行う場合には薬剤の最終使用時期等に注意し、適正に防除しましょ。

(2) 除草

○雑草の発生が多いほ場は、翌年度の発生を防ぐため、抜き取りや刈り取りを早めに行いましょ。

3 豆 類

(1) 収穫作業

○本年の成熟期は、早まることが予測されます。倒伏や子実水分、葉落ち程度を確認し、収穫機を調整して下さい。

○小豆や菜豆のピックアップ及びコンバイン収穫は、下表を参考に実施してください。

表2 ピックアップ収穫の要点

区分	小 豆	金 時	手 亡
刈取	熟莢率100%の日から2週間以内 (子実水分16~18%が目安)	熟莢率100%の日から 6日以内朝露のある 時間帯に刈り取る	熟莢率100%の日から 1週間以降
脱穀	土壌表面が乾燥している時に行う		

作業中の収穫機点検は必ずエンジンを止めて！

**トラクタや作業機には、早めのライト点灯！
追突防止に「反射テープ」の装備を！**